

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 19 日

山口県知事 村岡 翠政 様

提出者

住 所 山口県岩国市錦町宇佐郷933番地

氏 名 株式会社 N2

代表取締役 畑原 勇太

電話番号 0827-74-0008

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 N2
事業場の所在地	岩国市錦町宇佐郷933番地
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	90 t	全処理委託量	90 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

多量排出事業者の産業廃棄物処理実施状況報告書(令和6年度実績)

多量排出事業者 名 称	株式会社 N-2	所在地(市町名)	岩国市	事業の種類	総合工事業
-------------	----------	----------	-----	-------	-------

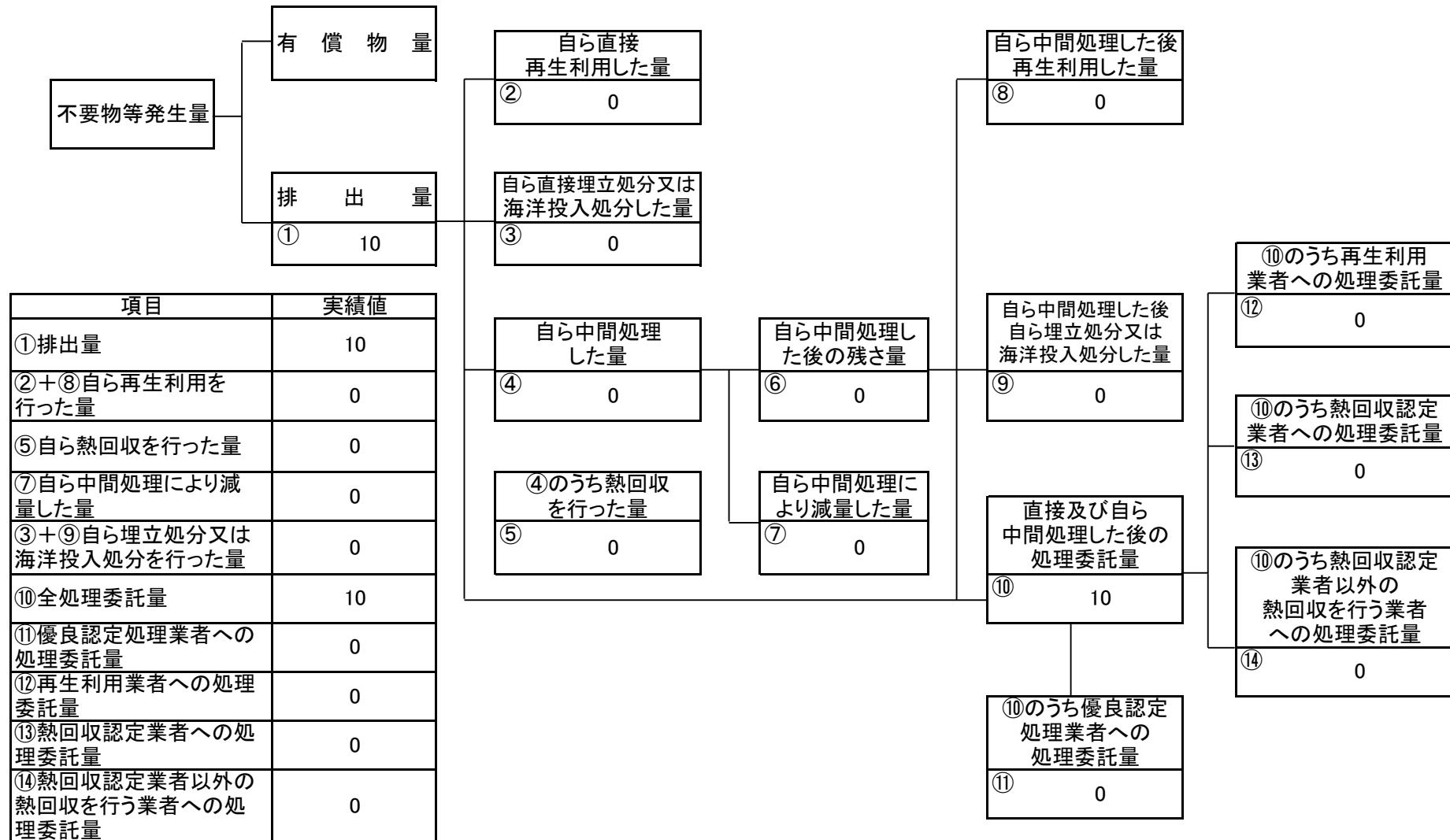
区分 種類	①排出量	計画の実施状況												
		②自ら直接再生利用した量	③自ら直接再生利用又は他の再生処理を行った量	④自ら中間取扱いを行った量	⑤4から5回収した後の残さ量	⑥自ら中間取扱いによる減少し量	⑦自ら中間取扱いによる減少し量	⑧自ら中間取扱いによる減少し量	⑨自ら中間取扱いによる減少し量	⑩自ら直接及び自ら中間取扱いによる減少し量の合計を算出した量	⑫他のうち再利用又は他の再生処理を行った量	⑬他のうち再利用又は他の再生処理を行った量	⑭他のうち直接再生利用又は他の再生処理を行った量	⑮他のうち直接再生利用又は他の再生処理を行った量
樹木類										0	0	0	0	0
内装										0	0	0	0	0
漆油										0	0	0	0	0
漆										0	0	0	0	0
漆アルカリ										0	0	0	0	0
漆プラスチック類										0	0	0	0	0
紙くず										0	0	0	0	0
木くず										0	0	0	0	0
繊維くず										0	0	0	0	0
動植物性残さ										0	0	0	0	0
動物系摄影不要物										0	0	0	0	0
ゴムくず										0	0	0	0	0
金属くず										0	0	0	0	0
カラタケ類、コンクリートくず れいじり										0	0	0	0	0
鉛さい										0	0	0	0	0
がれき類	10									10	0	10	10	0
動物のふん便										0	0	0	0	0
動物の死体										0	0	0	0	0
はいビン										0	0	0	0	0
13号医療物										0	0	0	0	0
計 (A)	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0

区分 種類	①排出量	計画の実施状況												
		②+③自ら再生利用を行った量	④自ら回収により廃棄し、他の再生処理を行った量	⑤自ら中間取扱いによる減少し量	⑥自ら直接委託業者への処理委託量	⑦自ら直接利用又は他の再生処理を行った量	⑧自ら直接委託業者への処理委託量	⑨自ら直接利用又は他の再生処理を行った量	⑩自ら直接委託業者への処理委託量	⑪自ら直接利用又は他の再生処理を行った量	⑫他のうち直接再生利用又は他の再生処理を行った量	⑬他のうち直接再生利用又は他の再生処理を行った量	⑭他のうち直接再生利用又は他の再生処理を行った量	⑮他のうち直接再生利用又は他の再生処理を行った量
樹木類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内装	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漆油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漆アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漆プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系摄影不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カラタケ類、コンクリートくず れいじり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉛さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
動物のふん便	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
はいビン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13号医療物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (A)	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。